



中部国際空港

安全な 事業環境の 創造

安全と健康を守るために。
一九社が集う「安全衛生協力会」の活動は
豊建の誇りです。



中部国際空港

人間尊重の基本理念のもとに

基礎工事は地表面下を相手に、
仕上工事では常に高所作業が伴う
など、日々過酷な工事現場に挑む豊
建にとって、安全確保は企業経営の
根幹にかかわる最重要課題である。
一九八〇年に専門工事会社として
いち早く「安全衛生協力会」を組織
するとともに、独自のルールを策定
し安全管理活動を進めている。

具体的には、墜落・重機の二大災
害の絶無を目標に、毎月一回、会員
による安全衛生協議会を開催し、
「ムリ・ムダ・ムラ」をなくした安全施
工を実施するための研鑽を重ねて
いる。ここでは「基本を守って安全作
業」―災害ゼロから危険ゼロへ自主
的安全管理運動の推進―「現場
地KYで危険ゼロ」といった啓発ポス
ターも作成掲示して、安全意識の高
揚を図っている。特に、安全朝礼から
始まり、安全ミーティング→作業開
始前点検→現場巡視→安全工程
打ち合わせ→持ち場後片付け→終
業時の確認、とする連の安全工程
サイクルの周知徹底がねらいで、不
安全作業の指摘を受けた作業員に
はイエローカードを交付するなど、つ
ねに注意喚起を促している。それは、
作業者の健康と工事の安全を両輪
とする考えの現れでもある。

